

地方史情報 141

2020年1月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	新潟県	25	和歌山県	46
岩手県	2	富山県	26	島根県	47
宮城県	3	山梨県	26	岡山県	48
秋田県	4	長野県	27	広島県	50
山形県	5	岐阜県	31	山口県	50
福島県	6	静岡県	32	徳島県	51
茨城県	7	愛知県	33	愛媛県	52
栃木県	9	三重県	34	福岡県	53
群馬県	10	滋賀県	34	佐賀県	54
埼玉県	11	京都府	36	宮崎県	54
千葉県	12	大阪府	38	鹿児島県	55
東京都	13	兵庫県	42	沖縄県	56
神奈川県	21	奈良県	46	寄贈図書	56

北海道

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇374 2019.7 A4 8p

史跡旧奥行白駒通所主屋(別海町)

新理事長就任にあたって

退任のご挨拶

令和元年度 (一財)北海道文化財保護協会会員総会

史跡フゴッペ洞窟と若き研究者 奥野義扶氏

シリーズ・伝える 大地が語る十勝の自然史

戸田 博史

角 幸博

舟山 廣治

竹田 輝雄

藤山 広武

苫小牧の近代産業ことはじめ～美々缶詰所の鹿肉缶詰	佐藤 麻莉
奉安殿と二宮金次郎像から 『教育勅語』を探し歩いて	山田 雅也
博物館ひろば 森(ニタイ)と湖(ト)のミュージアムで贅沢な時間を	
標茶町博物館ニタイ・ト	坪岡 始

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<http://hoppohm.org>

◇113 2019.6 A4 4p

講座 凍土の融けゆく大地 講師：飯島慈裕氏	中田 篤
講座 ビーバーマンの物語 講師：野口泰弥	野口 泰弥
館長講座 異なるコトバが会合うとき：国際先住民言語年に寄せて	
講師：津曲敏郎	種石 悠
巡回展 ヤヨベヨベ 国立アイヌ民族博物館PR展	笹倉いる美

岩 手 県

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊

◇278 2019.6 A4 12p

文化財が語る郷土の歴史(4) 「大槌燭屋鍛冶絵巻」	小山内 透
岩手県文化財愛護協会 会長就任にあたって	中村 英俊
「盛岡市歴史的風致維向上計画」の概要について	三浦 陽一
胆沢城跡歴史公園の開園一築地堀の立体表示とCGによる建物復元	高橋 千晶
ユネスコ無形文化遺産登録を視野に「風流」が躍進	
一鬼剣舞の取り組み	後藤 美穂
昭和三陸地震津波写真乾板の文化財指定について	假屋雄一郎
「一方井家所蔵自光坊修験関係資料」について	吉田 智春
国指定名勝 イーハトーブの風景地(7) 「狼森(おいのもり)」	柴田 慈幸
わが町の歴史的建造物(2) 天文学発展を見つめる世界の宝	
一旧臨時緯度観測所・旧緯度観測所ほか	川田 啓介
いわて繪葉書寫真帖(1) (盛岡名所)岩手ノ森	事務局編集部

宮 城 県

◆東北民俗 東北民俗の会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室
 FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊 <http://www.tohokuminzoku.com>

◇53 2019.6 A5 108p 1000円

姥神・奪衣婆信仰の地域的展開—中部地方を中心に 民俗研究黎明期の仙台における郷土への眼差し 宮城県のハリストス正教会(1)—教会の変遷を整理し把握する 土地の石をめぐる石工の伝承(2)—野蒜石の岩蔵 年中行事と行事食—宮城の食文化(6) 猫稻荷神社へ奉納された猫を描いた絵馬—福島県川俣町 昭和三十一年「農事日誌」にみる農家の生産と生活 ケンケン漁の始まりと伝播 銚子市沿岸における海難者供養	松崎 憲三 鳥居 建己 及川 宏幸 小田島利江 佐藤 敏悦 石黒伸一郎 佐藤 利明 川島 秀一
--	--

—立正佼成会の「水難供養」を事例に

小野寺佑紀

雷地名

稲 雄次

卒論・修論発表会の開催 栗原和輝「複雑化する会津地方の郷土料理」、
 対馬梨李「津軽地方における女性信仰集団の民俗学的研究」、鈴木
 舞香「民俗芸能の変化にみる生活と信仰—千本木龍頭神舞を事例と
 して」、嶋智詩「津軽地方における水虎信仰の動態的研究」、佐藤匠
 「近代における「史跡」整備と孝子の顕彰—奥州白石藩の再評価と
 その後の展開」

◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643
<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇42 (vol.18) 2019.7 A4 44p

特集 ブラジルと若宮丸漂流民

大島幹雄講演会「ブラジルと若宮丸」

大島幹雄講演会「ブラジルと若宮丸—サンタカタリーナ訪問記」

構成・齋藤博

ブラジルからのメッセージ

私と若宮丸

パウロ・バルタザール・ダ・ローザ／訳・鈴木まゆみ

ハルコさんの東松島・石巻ツアー

平成が終わる前に平成時代に訪れた石巻の思い出記

高瀬 晴子

ブラジルのおばあちゃん東松島・石巻に行く	千葉 輝子
ロシア秘境の旅―漂流民の足跡を追って 日本人漂流民の足跡をシベ リアに追う(後編) ヤクーツクからペテルブルクへ	相原 秀起
若宮丸漂流民ツアー 第二弾 石巻編	
日本・ウラジオストク協会との合同石巻漂流民ツアーに参加して	倉田 有佳
ナジェージダ(希望)は身近に	浅井 利春
東日本大震災後の漂流民関連史跡をめぐる旅(1)	
神社丸漂流民平之丞の墓	小林 郁
自著紹介 『写本翻刻『魯西亜記』(一～四巻)』	小松 芳文
帆船「ナジェージダ号」の乗船体験と長崎の史跡	小松 芳文
津太夫より前に世界一周した日本人はいたのか	佐藤三寿夫
私説私論 あなたが津太夫?―『環海異聞』絵図読解	大島 幹雄
宮城県図書館所蔵『環海異聞』絵図一覧	
もう一つのピョートル像	佐藤ミドリ
テレビ番組「ゴンザ 世界最初の露日辞典を作った男」上映会報告	木村 成忠
短信・コラム	
『ピースボート南半球の旅』を自費出版	稲垣 滋子
牡鹿半島漂流記(6) REIWA	太田 和美

秋 田 県

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322
年4000円 1973年創刊

◇45 2019.7 A5 40p 1364円

太平山信仰と三吉信仰―総本宮太平山三吉神社を視点に	鎌田 幸男
ねぶ流しを七夕とすること	石郷岡千鶴子
伝説の生まれる時―三湖伝説最終章をめぐって	小田島清朗
戦時体制下の青少年団体―国家総動員の枠に組み込まれた四年半	佐々木英雄
田尻の地藏盆行事、三つの境目が入り込んでいる不思議なエリア	
―由利本荘市石脇の事例	阿部 克人
研究大会発表	
「北前船と秋田の民俗」―令和元年度研究会大会ひらかる	小田島清朗

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322

年4000円 1974年創刊

◇126 2019.6 B5 4p

『集団と郷土の歩み』を読む

石郷岡千鶴子

民俗随想 バッタラ焼きのこと

石郷岡千鶴子

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322

1996年創刊 <http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇70 2019.6 B5 24p

表紙 湯沢町岩崎、末広町のカシマサマ(女神)(撮影・小松和彦氏)

特集 秋田歴研協第25回大会 村を守る不思議な神様を訪ねて 小松 和彦
用語解説

分限帳(ぶんげんちょう、又はぶげんちょうとも言う)(1) 半田 和彦
歴史情報

戊辰戦争の記録をたどる(葉隠墓苑慰霊碑)(1) 谷内 征美

新刊紹介 男鹿半島史Ⅳ『続・北捕誌』 秋田文化出版編集部

文献情報 加入団体会誌、著作等／催しもの情報

山 形 県

◆聴 雪 新庄古文書の会

〒996-0084新庄市大手町2-65 大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊

◇23 2019.6 B5 102p

巻頭言 歴史の復元 大津 純一

特別寄稿 「私の古文書漫步」遺稿(1) くじら餅は食の根源／狩人の

秘伝書「山立根本之巻」／「担ぎ石」のこと／日輪兵舎が金山町にあ

った／十七歳の遺書 大友 義助

学習会 第1部

御触書(1)「條々」―萩野村広野家文書 講師：土屋道郎／解説：川

田健介・佐藤寿也・箱山伶・武田清夫・大山昭徳

解 説 土屋 道郎

御触書(2)無題(仮)〔道中往来の御触書〕―瑞雲院文書

講師：土屋道郎／解説：成澤清久・阿部一・大友寿美代・沓沢

正昭・小嶋智恵・井関恭雄・伊豆倉公子

解 説 土屋 道郎

丑御用諸願書留帳―平岡村松沢家文書 講師：新国吉朗／解説：神

崎清次・大津純一・早坂誠・早坂武昌・矢口實・武田晴美・梁
瀬平吉・阿部修一・佐藤周一

解 説	新国 吉朗
学習会 第2部 古瀬本『古老覚書 巻七』(その1) 講師:伊藤勉	
古瀬文『古老覚書』を読み継ぐ	伊藤 勉
解 読	新国 吉朗
解説 遺稿(2)	大友 義助
言葉の謂れ 遺稿(3) 一生懸命・一所懸命／うつけもの／ヒロコ／	
「巣子」という地名／間歩・舗／地方	大友 義助
「地方史情報」に『聴雪22号』が紹介される一大友義助先生追悼号	大場 英一
ふるさと古学野外研修会	
一戊辰一五〇年 激動の山形史と斎藤茂吉の生涯を辿る	早坂 武昌
卒寿の自費出版「記憶の中の旋律 及位の童歌」	梁瀬 平吉

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 Tel023-623-5687 年3000円

1988年創刊 <http://www.geocities.jp/murayamaminzoku/>

◇33 2019.7 B5 100p

山辺町作谷沢の姥神像についての考察	廣谷 知行
山寺特集	
山寺の民間信仰～伝えられる民間信仰と、いくつもの境界と異界	野口 一雄
山寺夜行念仏の習俗と修験的な要素	村山 正市
立石寺「磐司祭とシシ踊り」覚え書き	菊地 和博
立石寺の磨崖供養碑にみえる地名について	荒木 志伸
山寺の磐司磐三郎伝説について	相原 一士
フォーラム	
本県における葉山信仰の諸相(1)	鈴木 聖雄
尾花沢の地名散策～アイヌ語地名を中心に	清野 春樹
鯉の大助譚に語られる「夢」について	村田 弘
本道寺宿坊の檀那場分布の変遷について	岩鼻 通明

福 島 県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12号室 山田英明方 2015年創刊

◇29 2019.6 A4 2p

天王山式土器の「一奇」	青山 博樹
フークトープ紀行(29) 阿津賀志山防塁(国見町)	赤井 武史
◇30 2019.8 A4 2p	
天才建築家・江川三郎八との出会い	高橋 信一
フークトープ紀行(30) 片目清水(福島市)	菅野 俊之

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-9193 2002年創刊

<http://www.history.fcp.or.jp>

◇54 2019.6 A4 4p

渋沢栄一と岩越鉄道敷設 明治28年(1895)6月25日付渋沢栄一書簡

(部分、福島大学蔵明治・大正期の福島県庁文書48)

近世の町場と目出し

『穂に穂』と円山応挙

近世期の只見川上流・伊南川流域の諸生業

明治三十七年、軍用缶詰の供出

「模範的」町村と地方自治

渡邊 智裕

小野孝太郎

渡邊 智裕

小野孝太郎

藤谷 誠

山田 英明

茨 城 県

◆茨城史林 茨城地方史研究会(発売:筑波書林)

〒310-0053水戸市末広町1-5-39 久信田喜一方 年3000円 1972年創刊

◇43 2019.6 A5 136p 1111円

《佐久間好雄名誉会長追悼特集》

巻頭言 佐久間好雄名誉会長追悼特集について

佐久間好雄名誉会長の生涯と業績

佐久間好雄先生を追悼する

佐久間先生の思い出

歴史の面白さを教えてくださった佐久間先生

佐久間先生の思い出

佐久間好雄先生と私

佐久間先生との出会い

常陽芸文「佐久間講座」の思い出

佐久間好雄先生を悼んで

佐久間好雄先生を偲んで

佐久間好雄先生年譜・著書・論文目録

久信田喜一

久信田喜一

並木 克央

野内 正美

矢口 圭二

川井 正一

須藤 和利

柳瀬 正己

橋崎 伸一

笹目 礼子

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852水戸市笠原町979-42 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊

◇90 2019.6 A5 50p

『大日本史』食貨志編纂における倉庫令復元研究再考	渡邊 拓也
藤田幽谷『勸農或問』考	梶山 孝夫
大日本史列伝における柿本人麻呂	松村 太樹
「羽部文書」より川越藩幽囚の木下政之介と叔父・木下武介らの顛末	飯村 尋道
大嘗祭復活に尽力した徳川光圀	名越 時正
日本史理解の爲に『幕末安政期の尊王攘夷論と開国論』	但野 正弘
『大日本史』食貨志編纂における倉庫令復元研究」正誤表	渡邊 拓也

◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 TEL047-345-5323
年5000円 2014年創刊

◇6 2019.7 A5 130p

巻頭言 専守防衛 defensive defence 欠陥と陥穽	三石 善吉
人倫の形而上学—倫理を示す「礼」の高札	関口 順
ホルティ政権 vs ヒトラー	
—ハンガリー国家元首の威厳と地政学(一九三六～四四)	三石 善吉
日本および台湾と中国の間の贈物文化—国賓を中心に	于 乃明
『資本論』の社会主義論	鎌倉 孝夫
最近のノーベル経済学賞について	
—二〇一二～二〇一八年受賞業績を中心に	平山 朝治
会員の新刊書紹介	
加納善光他編『上級漢和辞典 漢字源』	三石 善吉
吉田俊純『日本近世経済思想史』	関口 順
鎌倉孝夫『トランプ政権で進む政権の危機—新自由主義の世界的破綻・その解決はいかに—』	桐原 邦夫

栃 木 県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇112 2019.7 A4 4p

《特集 描かれた栃木の近代》

描かれた栃木の近代 報 告	堀野 周平
近現代に描かれた漁場図から読み解く民俗知識 一那珂川における定置漁業を中心に	石井 和帆
川上澄生の風景画	原田 敏行
農村のくらしを描く―「渡辺清絵日記」	中野 英男
新刊紹介 下野市教育委員会事務局文化財課『東の飛鳥―新・下野風土記』	吉原 啓

群馬県

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇259 2019.7 A5 57p

口絵 明治初めの鹿児島県庁は鹿児島県人独占だった 井野 修二
群馬の市街地学ハイキング(10) 太田市コース 堅固な城を支えた
金山丘陵と八王子丘陵の成り立ち

矢島祐介／大澤澄可／金子稔／中島啓治／中村庄八

『白衣観世音建立之趣旨書』余話(3)一英霊の名はどこに? 田口 正美

『怨庵詩文集』を読む 後編―明治初めの県政を記した漢詩文 井野 修二

高山彦九郎日記による歴史散歩(64) 『北行日記』(23) 正田 喜久

支部だより

渋川子持支部 秋の旅行 山形 佐藤 義一

群馬支部(春期) 渋川市の史跡・文化財巡り 富所洋一郎

歴史散歩の報告(事務局企画)

天の橋立の宮津と舞鶴 山崎 正

古代文化の石岡(茨城県石岡市) 山崎 正

表紙写真 利根川にかかる刀水橋と金山丘陵、その奥が八王子丘陵

(写真提供:太田市文化財保護課)

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町2529-1 永島政彦方 1979年創刊

◇158 2019.6 B5 4p

群馬の中世無縫塔 四方田 悟

年貢勘定の「算者」について 佐藤 孝之

第113回例会記事 玉村友里氏「近世後期上州における博徒と道案内」、
伊藤克枝氏『『永禄日記』一月三日条 毘沙門配りを巡って』

埼玉県

◆野外調査研究 野外調査研究会

〒337-0073さいたま市浦和区元町3-22-6 ツインハウス元町201 高原勇夫方
2017年創刊 <https://saito-m.jimdo.com>

◇3（通28）2019.6 A4 166p

巻頭言 野外調査研究所から野外調査研究会へ

一市民とともに学ぶ活動を目指して

高原 勇夫

活動報告

平成30年度 野外研講座・講演会・野外見学会

一地域の自然・歴史に触れ・学び・伝える

高原 勇夫

平成30年度 コムナーレフェスティバル・浦和コミセンまつり

岡本 浩

野外調査研究会におけるテーマ別部会活動の提案

本間 岳史

メール通信の報告と現況

尾崎 康彦

ホームページがスタートして一年

斉藤 光弘

安政6年荒川大出水と埼玉平野の氾濫特性

松浦 茂樹

地磁気逆転と太陽コロナについての一考察

岡本 浩

考古学から考える紀元前後の利根川の流路(覚書)

柿沼 幹夫

寺地遺跡と真脇遺跡の「日の入り」の観測

藤田富士夫

長瀨町における板碑石材の採掘と加工の可能性を探る

村田 嘉行

「本当の幸い」をさがして一宮沢賢治の生涯をたどる

斉藤 久子

埼玉県で記録された海鳥

藤波不二雄

Archaeobotanist への道

遠藤 英子

編集者気質

鳥居 哲男

特集一寒天製造の文化と現状

「天然寒天づくり」の調査とフォーラム・講座

五味康／吉川國男

天然寒天の製造工程

五味 康

寒天製造用具類について(調査報告)

五味康／吉川國男

寒天づくりのこれからを考えるフォーラムに参加して

野島 玲子

寒天の里を訪ねて

安藤 恭枝

寒天の種類と代表的な用途

吉澤 しほ

寒天づくりの作業唄「天屋節」の音階について

岡本 浩

本の紹介 『海に沈んだ大陸の謎—最新科学が解き明かす激動の地球史』

佐野貴司著

本間 岳史

コラム

見沼の泥炭層と珪藻化石

高原勇夫／倉成英昭

豊洲新市場の土壤汚染問題を考える

松浦 茂樹

野外研通信 甲武信ヶ岳周辺、エコパーク登録へ

吉川 國男

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇208（通515）2019.7 A4 20p

市政ふれあい懇談会に参加して

並木会場から

東 日出夫

新木会場から

飯白 和子

湖北会場から

岡本 和男

『体験記 私たちの戦中・終戦直後史』印刷依頼済み

谷田部隆博

歴史探訪部会「水戸道中 大町一里塚跡～土浦宿～板谷の一里塚」を
歩く

矢野 朝水

近隣市町の歴史資料館見学記(7) 真壁伝承館

萩原 正美

令和元年5月15日歴史探訪余話一真壁・笠間の浅野家・赤穂浪士

長谷川秀也

我孫子の社寺を訪ねる(36) 新木地区(2)

香取神社・牛頭天王社・太子堂

飯白 和子

社寺調査余話 新木香取神社の「神官 守護職」について

飯白 和子

古代史研究G 6月の活動報告萩原 正美

井上家文書研究部会 6月の活動報告

白神 正光

古文書解読日曜部会 6月の活動報告

白神 正光

合同部会 6月の活動報告 新木地区第2回社寺調査検討会

中澤 雅夫

古文書解読火曜部会 6月の活動報告

田中 康弘

歴史部会 6月の活動報告 第40回研究講座

テーマ「宗門人別改帳に見る江戸中期の相島新田井上家」

逆井 萬吉

歴史探訪部会 6月の活動報告

探訪「水戸道中 大町一里塚跡～土浦宿～板谷の一里塚」を歩く 長谷川秀也

◇209（通516）2019.8 A4 14p

歴史探訪部会 9月例会 「下総国府・市川（古代～中世）」を訪ねる

一企画展「外かん自動車道の発掘成果」見学 9月3日(火)

『体験記 私たちの戦中・終戦直後史』完成	谷田部隆博
市役所企画課を訪問	東 日出夫
戦前の雑誌『遍路』に見る新四国相馬霊場	近江 礼子
古代史研究G 7月の活動報告	池田 隆信
井上家文書研究部会 7月の活動報告	萩原 正美
古文書解読日曜部会 7月の活動報告	鈴木江里子
歴史探訪部会 7月の活動報告 市川市下見	長谷川秀也
歴史部会 7月の活動報告 第41回研究講座 テーマ「我孫子古代史へのいざない」	逆井 萬吉
合同部会 7月の活動報告	
社寺調査報告書案「中峠地区一龍泉寺」の検討	中澤 雅夫
我孫子の社寺を訪ねる(37) 中峠地区(9) 南命山龍泉寺	飯白 和子
古文書解読火曜部会 7月の活動報告	勝野 繁蔵

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1980年創刊

◇142 2019.7 B5 6p

令和元年度 総会・講演会の報告 総会議事／講演会 佐藤勝廣氏

「山梨県の特徴ある石造物」

六月勉強会の報告

第五回石仏基礎研修「仏像の基礎～仏像の特徴を知る～」

栄町北田辺の金毘羅宮

八千代市最古の万治三年銘の三猿付角柱型庚申塔とその類型塔

米谷 博

藤 由美

東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇16 2019.7 A4 8p

開館5周年記念講演会報告 「記録・アーカイブする意味—現在の民

主主義を問う—」 講師・瀬畑源さん

(瀬畑)

市民アーカイブ多摩の四季 夏 サンゴジュ

邑田 仁

ミニコミ紹介

A B C企画NEWS A B C企画委員会

和田千代子

クッキングハウスからこんにちは クッキングハウス 松浦 幸子
私と市民活動資料(12) 歴史の1コマを示す貴重な資料 是枝 洋
ネットワーク・市民アーカイブ定期総会報告

組織基盤の強化と資料の活用

第5期緑蔭トーク報告 第1回「生きる楽しさを伝えたい―『共働学
舎だより』をつくる」千野正世さん・桑木なつみさん(共働学舎) 佐藤 啓子
大原社会問題研究所創立100周年・法政大学合併70周年記念シンポジ
ウム「社会問題の現在」参加報告 歴史が作られる場に立ち会うこ
と、そして後世に伝えること 第1部 記念講演「大原社会問題研
究所の100年」、第2部 シンポジウム「社会問題の現在：運動と研
究をどのように切り結ぶのか」 三浦 健

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818
年5000円 1939年創刊 <http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/>

◇315 2019.6 B5 20p

表紙解説 路傍の小祠・水彩画(熊谷市郊外) 石黒 繁夫
路傍の小祠と三面大黒像―埼玉県熊谷市郊外の大黒天信仰 石黒 繁夫
湯沢町の雪形―新潟市南魚沼郡 山崎 進
「海上の神火」の成因と焚火山信仰―隠岐・焼火神社探訪の回想(続編)
岡倉 捷郎

あしなか余聞

大石真人さんと「土民測量」 小海 敏雄
大石真人さんの思い出 中原 國雄
山里だより(30)
天栄山の金山伝承と霊泉―南会津秘湯・見たり聞いたり(2) 山立 虎魚

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇617 2019.7 A4 4p

資料整理から 染物の型紙 郷土博物館
はい、文化財係です。(11) 徳川将軍家の鹿狩と島根の旗 佐藤 貴浩
行政文書に見る足立区の水害記録(6) 山崎 尚之

◇618 2019.8 A4 4p

堤外と堤内 山崎 尚之
足立の「ウブメ」 奥村麻由美

はい、文化財係です。(12) 出土した煉瓦—近代産業の文化財 佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇376 2019.7 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団
報告書の要旨(3) 続・編 堀川和夫
近松という人 『足立風土記資料 金石文 I 記念碑等』 発行・平成
4年3月 教育委員会 同書の「解説文」／近松松次郎表彰碑採拓
(西新井小学校内)

探訪・描かれた街と資本主義揺らんの地 6月16日・東道 伊藤博氏
埋没した戦後の記憶双書Ⅳ 拾遺・中小企業態だった頃の木造二回建
足立区役所物語(2) 千寿陰士著(安藤義雄) 第三話 航空自衛隊
の輸送機試乗／第四話 埼玉県土木観光部の県内観光の招待見学／
第五話 埼玉県土木課に囁み付かれる陸上自衛隊の富士大演習の観
閲

◇377 2019.8 A4 8p

芭蕉さん胸像鎮座す

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団
報告書の要旨(4)／終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日
アメリカ教育使節団勧告書 要旨(1) 初等・中等教育行政 編・堀川和夫
足立の新田開発 史談大学第2講／芭蕉さんちょっと異動
終戦から74年・学童疎開75年／令和元年 学童疎開展開催にあたって
報恩社法録 上／小菅県とは

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇128 2019.6 A4 10p

表紙 改元を考える その壺

私年号—改元を望む人びと 福德元年銘板碑(府中市教育委員会蔵)
改元を考える その壺 私年号—改元を望む人びと 深澤 靖幸
最近の発掘調査 「倉」の墨書土器が出土 宮西町一丁目 野田憲一郎
NOTE 和宮降嫁と府中 花木 知子
展示会案内 企画展 中世東国と改元 深澤 靖幸
展示会案内 特別展 あしもとネイチャーワールド

多摩川夏のいきもの 左岸オールスターズ	中村 武史
府中の身近な昆虫絵巻(5) コーラスを奏でる夏の虫	中村 武史
平成史に残る天文・宇宙イベント(1) 日本人、宇宙へ!	塚田小扶里

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇428 2019.7 B5 25p

昨今の山間集落について思うこと	小泉 重光
城峯・箕山・寶登山神社の丁目石	野口 実
伊豆国の工匠の足跡(32)	酒井 昌樹
「飯能アルプス」は勝手な命名	藤本 一美
山徒然(6)	関口 洋介
スノーシュー散歩の楽しみ	服部 英昭
故 高津裕子さんを偲んで	
高津さんの事	大川 満代
高津さんとの思い出	服部 英昭
高津さん・荻田さん お二人の思い出	高橋 澄夫

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇214 2019.6 A4 8p

催事スケッチ 浜降祭 湘南に本格的な夏の到来を告げる暁の祭典
写真・文 渡辺良正

平成30年度第2回 儀礼文化研究会報告

香港坪洲島天后宮、中元節の先祖祭祀—清代南シナ海 海賊、伝承
と・総合研究大学院大学教授 松尾恒一

台南道教の祭薬王儀礼について 浅野 春二

一般社団法人儀礼文化学会 第三十八回春季大会開催一催しは「鹿と
獅子の民俗芸能競演」を鑑賞

会長式辞	中島精太郎／代読	江馬潤一郎
理事長挨拶		倉林 正次
催し 鹿と獅子の民俗芸能競演		久保田裕道
歓宴 和やかな談笑の輪		佐々木幸子
会員を訪ねる 湊川神社／長田神社		
レポート		

儀礼文化講座(平成30年度第7回) 礼法 「結ぶ」 講師：小笠原清忠

儀礼文化講座(平成30年度第8回) 儀礼文化史 「祈りの儀式より、
もてなしの文化へ」 講師：松尾恒一

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇106 2019.7 A4 6p

アイヌ民族の城「チャシ」―北海道に残るチャシから

京に構えられた城館から―平安末から戦国期の京での築城 「六波羅
邸」跡を確認／花山院御所から三条坊門邸へ／花の御所から二条古
城へ

西ヶ谷恭弘

城館ニュース(1) 和歌山城第24次発掘調査 水島大二氏提供

城館ニュース(2) 熊本城崩壊石垣で新事実

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊
<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇276 2019.7 A4 12p 400円

江戸時代の農民の旅一代参講

真板 道夫

平成30(2018)年度 事業報告／平成30(2018)年度 決算報告

荻窪の記憶―大田原公園周辺一〇〇年の歴史(2)

松井 和男

新元号「令和」を思う

新村 康敏

新刊図書 写真アルバム『杉並区の昭和』

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊
<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇247 2019.6 B5 29p

千葉県我孫子市日秀のオビシヤ

近江 礼子

稲荷憑き覚書

厚 香苗

「復活」する行事―男鹿市泉台のナマハゲ

川邊絢一郎

国讃めや国占めを連想される伝承

星野 岳義

群馬県安中市の悟留譜観音

高橋 成

「神々の去来」をめぐる諸問題―特輯号にむけて

小池 淳一

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/>

◇332 2019.7 A4 2p 100円

芥子之介(助) 源水は歯抜き目抜きは芥子之助
そそそ

◇333 2019.8 A4 2p 100円

わいわい天王と戸塚のお札まき
佃踊り

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇136 2019.7 B5 8p

第28回大会報告 第28回大会「多摩の鉄道史Ⅳ」参加記 三村 章
四百年の物価トレンド 近辻 喜一
資料紹介 東大和市旧後ヶ谷村の共有膳椀(2) 梶原喜世子

◆中世城郭研究 中世城郭研究会

〒177-0033練馬区高野台3-24-6 八巻孝夫方 TEL03-3997-5703 1987年創刊

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/chujoken/>

◇33 2019.7 B5 282p 3000円

表紙図版解説 「熊倉城」埼玉県秩父市荒川呑だ熊 作図・文 田崎茂
馬出を考える 特集1

信濃堀之内城・布引城郭群の馬出の謎 三島 正之
埼玉県西部の諸城の馬出について 田崎 茂
上野箕輪城の丸戸張一角馬出と推定されるものの一事例 米山 喬朗
羽衣石谷の城郭一羽衣石城とその支城群について 木地谷了一
小机城の考察(上)―縄張の研究史及び城の歴史と構造を考える 八巻 孝夫
近代の讃岐・丸亀城―陸軍史料の記述を中心に 高田 徹
長篠合戦の史料 藤本 正行
報 告

上総高藤山城 中井 正代
下総吉橋城址について 池田 光雄

第35回(2018年)全国城郭研究者セミナーの報告

第三五回全国城郭研究者セミナーについて 目黒 公司

三河国幡豆郡の城館一吉良氏と地域	奥田 敏春
密集した小規模方形郭群の事例紹介と検討	
一近畿地方の中世遺跡を中心に	遠藤 啓輔
史跡米子城跡の最新発掘調査成果	浜野 浩美
富山県高岡市高岡城跡詳細調査の成果について	田上 和彦
馬出を考える 特集2 シンポジウム「馬出を考える一定義と分布」	
東海地方の馬出について一分布と構造を中心に	石川 浩治
越中・能登・加賀・越前・若狭・飛騨の馬出	佐伯 哲也
東北地方の馬出	室野 秀文
関東の馬出	山本 浩之
長野県・山梨県における丸馬出のひろがり	山下 孝司
近畿及び周辺の「馬出」について一定義と分布	高橋 成計
「シンポジウム 馬出を考える一定義と分布」概要	
城郭関係文献リスト 2018・2017(補遺)・2019(速報)	関口 和也

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇137 2019.7 A4 6p

報告 研究会「十条駐屯地の旧鋼製耐震煙突の構造と特徴」文・挿絵 八木司郎
産業遺産を訪ねて(21) 迎賓館赤坂離宮一国宝 2016年から一般公開

文・写真 平井東幸

文献紹介 『博物館や遺産にみる蚕糸絹技術・文化の地域的特性とその伝承 調査報告書』 吉田豊著 高崎経済大学経済学部大島研究室
多田 統一

報告 見学会「小川町の和紙関連施設・石蔵等見学会」 文・写真 堀内仁之
文献紹介 『日本プラモデル六〇年史』 小林昇著 文藝春秋 多田 統一

報告 見学会 大森・海苔のふるさと館―海苔産業の歴史と中ベカ船
復元を見る 文・写真 吉田修

茨城県坂東市の赤煉瓦建築物 「反町閘門(そりまちこうもん)」

文・挿絵 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631
年2000円 2002年創刊 <http://www.tokyo-sensai.net>

◇35 2019.7 A4 8p

就任のごあいさつ

吉田裕／相田利雄

開催中!! 特別展「遺品が語る沖縄戦」

8月開催!! 夏休み特別企画「みんなで学び、伝えよう! 東京大空

襲」のご案内

「東京大空襲を語り継ぐつどい〜東京大空襲・戦災資料センター開館

17周年」開催報告

工藤 芳弘

センターで体験を語って

関野 清雲

体験記録集『あのとき子どもだったー東京大空襲21人の記録』刊行&

増刷!!

竹内 静代

理解と支援の輪を広げるためにー新しいイベントの試み

比江島大和

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

◇373 2019.7 A4 4p

豊島氏関係史料を読む 番外編 平安末〜鎌倉期の豊島氏(2)

伊藤 一美

高札場 4月例会 新緑の秩父札所めぐり(2)

練馬の城を往く(22) 練馬の城を地名で探る

C立ノ山(たてのやま)(大泉学園町) 前回の続き

八巻 孝夫

年号考一改元に思う

鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇124 2019.6 B5 4p

第126回例会 「中世、石神井郷の消息」

下島 邦夫

「石神井火車站之碑」について

飯塚 芳男

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇96 2019.7 A4 8p

第34回総会を開催

総会記念講演 隣国としての韓国とどう接するかー北東アジアの和解

により未完の日本国憲法を補完する 内田雅敏さん

文責・平嶋彰彦

東日本部落解放研究所 第33回研究・交流集会のお知らせ 第1分科

会 歴史 報告「幕末期・権威主義的小頭支配に抗する一和田村・
長蔵 中丸村・長兵衛」松本勝さん、「神事舞太夫と職分と由緒」
橋本鶴人さん／第2分科会 教育 「埼玉の人権・同和教育の今」
石川享助さん、「Fight or Flight 南葛での1年」榎本雄弥さん、
神奈川からの報告／フィールドワーク(オプション)

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇258 2019.7 A4 36p

北村透谷と演劇(下)一劇作家を志向した透谷

荒河 純

小田原のルーツを知りたい

(仮説)「をたわら宿」から「小田原宿」へ

宮原 諄二

小田原藩士たちの明治維新(下)一「有信会」GHQに狙われた危機

宍倉 正弘

井細田むかしばなし

井細田ことぶき会サロン会／司会・別生憲一

近代化と女子教育

宇佐美ミサ子

戦中・戦後、私の新名女学校 話し手：志摩麗子さん・荘司寿子さん

ミッションスクールで迎えた学制改革 石井艶子さん

私の体験した学制改革 田中豊さん

片岡日記 昭和編(17) 昭和4年4月～7月

片岡永左衛門

史談再録(第138号・平成元年10月より)

北村透谷記念碑建立の経緯

岡部 忠夫

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊

◇67 2019.6 A4 2p

「かく子の家」で思い惑う

前田 セツ

文書館がほし〜い 第21回 地域資料を「集める」ことについて

(多和田)

九十九里在住の井上隆男様のこと

(曾原)

◇68 2019.7 A4 2p

村木はなのその後のことなど

本多 順子

名越やすらぎセンターで出前朗読

(西)

佐藤達枝さんに念願の聞き取り

(石崎)

腰越「聖母訪問会」を訪ねて
岩井素子さんの2度目の聞き取り

(曾原)

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊 <http://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇35 2019.7 A4 12p

YOKOHAMA 1989—“平成”スタート

平野 正裕

新田間川埋立と開発計画

百瀬 敏夫

戦地から帰った兵士たち

羽田 博昭

閲覧資料紹介 『市民生活白書』(一九六四年)

金 耿昊

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付(吉田律人・西村健)
TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇84 2019.6 B5 4p

2019年度総会／第112回例会 シンポジウム「自治体史編さんの現状と課題」 平山孝通「茅ヶ崎市史編さん事業の過去と現在」、井上洋一「綾瀬市史編集の現状と期待」、佐藤勝巳「戸田市史の編さんと史料保存」、立野晃「鎌ヶ谷市史編さん事業終了後の現状と課題」、コメント 小風秀雅・季武嘉也、司会 栗田尚弥・手塚雄太／次回
の研究例会 第113回例会

情報ネットワーク 展示会情報

新刊案内

手島仁『画家・住谷磐根とその時代』

松本 洋幸

藤沢市文書館編『歴史をひもとく藤沢の資料』4. 湘南台地区

澤内 一晃

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付(吉田律人・西村健)
TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇8 2018 2019.7 A4 61p

特集 『さいたま市史 鉄道編』をめぐって

本特集の趣旨

老川 慶喜

鉄道のまち「大宮」の誕生

老川 慶喜

戦前期の都市化と鉄道—京浜東北線開業前後のさいたま市域

高嶋 修一

大宮工場の成立と発展—日本鉄道から国鉄へ

岡部 桂史

- 戦時期の鉄道—埼玉県の場合 栗田 尚弥
 高度成長期の鉄道と新幹線問題 恩田 睦
 書 評
- 粟倉大輔著『日本茶の近代史 幕末開港から明治後期まで』書評 鎮目 良文
 中村元著『近現代日本の都市形成と「デモクラシー」—20世紀前期
 ／八王子市から考える—』書評 松本 洋幸
 埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書』第17巻～第20巻 埼玉県布
 達集一～四 書評 黒川 徳男
 『戦後東京と闇市 新宿・池袋・渋谷の形成過程と都市組織』書評
 へのリブライ 石樽 督和
 『日本茶の近代史』書評へのリブライ 粟倉 大輔
- 首都圏形成史研究会活動報告
- 第104回例会 シンポジウム『さいたま市史 鉄道編』をめぐって
 本号収録
- 第105回例会 報告要旨
 戦時下東京における接客業整備と符号 半戸 文
 首都建設委員会と都市交通審議会 鈴木勇一郎
- 第106回例会 合評会 石樽督和著『戦後東京と闇市 新宿・池袋・
 渋谷の形成過程と都市組織』合評会、展示見学会 横浜開港資料
 館平成29年度第3回企画展示「開港場横浜の原風景—350年の歴
 史を探る—」年報・首都圏史研究2017、本号収録
- 第107回例会 報告要旨
 横浜における最初期の茶貿易について
 —中山元成とG・R・ホール 櫻井 良樹
 中山元成史料中のペリー来航関係記録 西澤美穂子
- 首都圏新刊案内 中村元『近現代日本の都市形成と「デモクラシー」
 —20世紀前期／八王子市から考える』、大矢悠三子『江ノ電沿線の
 近現代史』

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/>

◇64 2019.6 A5 112p 500円

星崎記念館は戦後の小田原文化の拠点だった

小田原市立図書館の閉館

小泉政治／星野和子

酒匂川だより 「平成最後の春」

町田紀美子

天野康景公の気概	今川 徳子
栢山村と二宮総本家再興の仕法	尾上 武
相州関本村名主・下田隼人	下田 勝也
続・ボクの映画館(18)	
ダニー・ケイの都会的な喜劇映画の快作『虹を掴む男』	平倉 正
老いを噛みしめる 黒井千次の随想を読んで	佐宗 欣二
寄席に通ったあの頃	田中 豊
関東十八檀林記(8) 江戸から下総へ	青木 良一
小説 川崎長太郎日誌(9) 抹香町外伝(其の弐)	芳賀喜久雄
真言の人・空海(9)	茂木 光春

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇616 (52-4) 2019.7 A5 24p 350円

県立博物館がとらえる地域と民俗展示

一福島県立博物館部門展示室リニューアル

内山 大介

民具短信

富山県砺波郡の「明治十三年農事器械調」について

安ヶ川恵子

「モノ・文化遺産・生活方式」東方学研究国際フォーラムに参加して

石 岩岩

書籍紹介 『新鳥取県史』民俗2 民具編

樫村 賢二

◇617 (52-5) 2019.8 A5 24p 350円

ある種の穂摘具の系譜について—ツンペラと石匙の接点

太田原 潤

景德鎮製磁用具の記録資料としての『陶冶図』について

王 麗

◆悠 久 鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇158 2019.7 A5 114p 680円

《特集 大嘗祭》

口絵 近世の大嘗祭

塩川 哲朗

エッセイ 日本人が育んできた神仏習合の在り方

狭川 普文

令和の「大嘗祭」をいかに拝するか

佐野 和史

古代の大嘗祭

加茂 正典

中世の大嘗祭

加瀬 直弥

大嘗祭の中絶と復興—荷田在満を絡めて

古相 正美

近現代の大嘗祭

武田 秀章

現代社会における大嘗祭

浅山 雅司

八幡宮紹介 青山八幡宮（静岡県藤枝市八幡）

新刊紹介 『日本の暮しと神社』 茂木貞純著／『文学研究の窓をあける』—物語・説話・軍記・和歌 石井正己・錦仁編

新潟県

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

TEL025-262-6289 1968年創刊

◇78 2019.6 A5 56p 1000円

河口湊町と漁業—近世後期、信濃川における新潟町の鮭大網

安宅 俊介

寛永熊本地震の考古学的検討

齋藤友里恵

明治期長岡における大橋新太郎の教科書・学校用品販売

矢田 俊文

動 向

国際シンポジウム「港湾都市新潟と海をめぐる諸問題」について 山内 民博

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538 TEL025-378-2202

<http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/>

◇26 2019.7 A4 6p

花と蝶の幻景

越海 筆

良寛百態

高橋郁丸・画

付録 良寛遺墨シート 鍋蓋刻字「心月輪」

解説・小島正芳

言霊 人生百年後 賢愚同帰茲

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇165 2019.7 A4 16p

「良寛像」(河内舟人・画) かとうち・しゅうじん(明治32年～昭和31年)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(14) 良寛の学識に驚嘆

金山 有紘

良寛遺墨鑑賞(13) 書簡 三輪権平宛 寒天の節

小島 正芳

折々の良寛 (54) 良寛「法華讀」のすすめ(1)

長谷川義明

第四十二回 全国良寛会 燕大会 「良寛の里」で良寛の心を思う／

記念講演会「良寛和尚—金毛獅子變成狗—」 泉田玉堂老師 文責・宮迫勇
「各地良寛会だより」(6)

新発田良寛会の巻 良寛講座、茶会…、多彩に活動	星野 淳雄
相馬御風の良寛(14) 「関西紀行」の「発見」	金子善八郎
良寛に学ぶ(下) 何にもならないことをする、そして書	加藤 僖一
備中玉島と良寛さん(6) 玉島と御茶文化	安藤 瑞子
良寛 草庵の詩歌 素描(上)	吉田 福恵
新刊紹介 『良寛の実像—私の「良寛」著述からの珠玉集』(本間勲著)	
	本間 明
良寛を訪ねて(14) 寺泊 照明寺と密蔵院(下)	吉井 清一

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊

◇189 2019.7 A5 62p 1300円

近世富山町の本屋について—富山の書籍と紅屋伝兵衛	坂森 幹浩
描かれた三種の神器—福王寺の神祇御影図	松山 充宏
越中の平田派門人—歴博研究報告を手掛かりに	栗三 直隆
史料紹介 前田利長書状二通	鈴木 景二
報告 『富山史学』第一号の発見	城岡 朋洋
最近の地方史情報	中条 充子

山 梨 県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇5 2019.6 B5 20p

水かけ論について 寛文の上谷村検地帳を読む(3)	金田準之助
初期の宝鋟山について	佐藤 弘
近代山梨県経済における1890年恐慌の状況	深澤 竜人

長野県

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇100 2019.6 A4 6p

特集 歴研と私

研究所開設の思い出

多和田雅保

歴史研究所で学んだこと

清水 迪夫

連帯を求めて孤立を恐れず…

糸原 明

私事ではありますが

宮下 金善

歴史研究所の指導を糧にして

小島 稔

飯田市歴史研究所 二〇一九年度研究計画／第17回飯田市地域史研究集会を開催します「飯田・下伊那の蚕糸業と地域社会」 石井寛治・田中雅孝・片桐一樹・大石真紀子・太田仙一

ゼミ紹介&募集 建築史ゼミを再開します 担当者：福村任生／新刊案内『飯田・下伊那の歴史と景観』飯田市教育委員会発行・飯田市歴史研究所編集、『伊那谷の暮らしと住まい』飯田市教育委員会発行・飯田市歴史研究所 わが町の建築ゼミナール編集

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1094 (67-7) 2019.7 A5 50p 550円

《飯伊の近代史特集》

口絵 長野縣管轄信濃國伊那郡喬木村地図

溝口 實

近代村絵図・地図の世界一明治の地図はどう作られたか

溝口 實

飯伊における明治初期の町村合併と新地名の誕生

青木 隆幸

伊那谷の近代交通を支えた道と橋

山浦 直人

観光地高遠の成立について一若干の新聞資料から

塚田 博之

◇1095 (67-8) 2019.8 A5 50p 550円

口絵 戦時中の女子と男子

原田 望

高須藩の御用金賦課と村方騒動(1)

伊坪 達郎

南信州の十王信仰と十王堂(下の1)

岡田 正彦

鷺流峡を跨ぐ「天龍橋」と地域の人々の生活

—第四代橋完成を機に改めて見直す(4)

大原千和喜

思い出の昭和

- | | |
|---------------|-------|
| (11) 北村義人君の終戦 | 原田 望 |
| (12) 父との別れ | 松澤 英男 |
| (13) 飯田大火の記憶 | 古橋 道夫 |
| (14) 飯田大火の記憶 | 加藤真那生 |

喬木村史学会の総会1／毛賀史学会の総会1／下條史学会の総会1／上
郷史学会総会1／新刊紹介 観る聴く調べる郷土の文化あれこれ
桃澤匡行著

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円

◇750 (63-7) 2019.7 A5 40p 500円

河南村(現伊那市高遠町)生まれの中原豊太郎「征長従軍奇聞録」所収

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 和蘭留学生某内密報告を読む | 瀧澤 秀人 |
| 伊那市が取り組む古い地名調査(15) | 竹松 亨 |
| 片桐氏家紋の系流 | 片桐 充昭 |
| 『郷土誌 美篤尋常高等小学校』が原点となって | 矢島 信之 |
| 思い出の人・思い出の事(28) 陣嶺館と日本画展 | 桃澤 匡行 |
| 古文書の窓(144) 五人組替願いに付御役所にお願ひ | 下平すみ子 |
| 文化短信 山本龍洞の六曲一雙屏風 | 福澤 浩之 |
| 図説・上伊那の民俗(26) きのえね様の祭り(辰野町小野雨沢2 常会) | 三石 稔 |

◇751 (63-8) 2019.8 A5 40p 500円

《終戦特集》

特攻隊に感動と熱狂の上伊那の子どもたち

- | | |
|----------------------------|-------|
| 一何が、誰が、そうさせたのか | 矢澤 静二 |
| 陸軍第15師団歩兵第17旅団 秋季機動演習と沿線住民 | 伊藤 修 |
| “歴史の教訓を次の世代に 資料を地域の財産に” | |
| 一登戸研究所調査研究会の取り組み報告(1) | 松久 芳樹 |
| 戦争末期から戦後にかけての学校生活の様子 | |
| 一東春近国民学校日誌から | 北原 昌弘 |
| 図説・上伊那の民俗(27) 田の草取り(伊那市美篤) | 三石 稔 |
| 徒然さんば(1) 弥彦神社 | 吉田 勝美 |

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <http://inaminkenhome.blogspot.jp>

◇117 2019.6 B5 8円

- 表紙 飯沼諏訪神社境内の「愛染祖神」／筒井捺染工場(飯田市上郷飯沼) 今井 啓
上久堅風張の年中行事と近隣事例—小池茂彦さんに聞く 北原いずみ
総会記念講演会・研究発表要旨 総会記念講演会 小澤俊夫筑波大学
名誉教授「柳田國男と昔話研究」／研究発表 片桐みどり会員「子供の行事 天神様」、今井啓会員「柴刈りと洗濯の民俗」 文責・今井啓
2019年3月・4月通常例会 2019年3月通常例会 宮下英治「民俗学草創期の北設楽と『熊谷家伝記』出版」、内山文世「川路七区のお天王様」／2019年4月通常例会 今井啓「上郷飯沼民俗調査にあたっての予備知識」 文責・今井啓
探訪会報告 上郷飯沼地区を歩く 今井 啓
紹介 『近代の記憶 民俗の変容と消滅』 野本寛一著 宮下 英美
伊那民研叢書紹介 『内発的な「まちづくり」—柳田学と後藤学に学んで』 高橋寛治著 松上 清志

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇834 (72-7) 2019.7 A5 92p 1150円

《隣県特集号 隣県地方史学界の動向—平成30年(2018年)》

- 愛知県地方史研究の動向 神取龍生／神谷智／高橋賢／山下廉太郎／塚本弥寿人
埼玉県地方史研究の動向 堀口智彦／根ヶ山泰史／榎本博
富山県地方史研究の動向 鹿島昌也／松山充宏／尾島志保／森俊
山梨県地方史研究の動向 上野桜／西川広平／高橋修
新潟県地方史研究の動向 石原正敏／浅井勝利／田嶋悠佑／渡部浩二／荒川将
群馬県地方史研究の動向 近藤聖弥／丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
長野県地方史研究の動向 櫻井秀雄／福島正樹／畔上不二男／田玉徳明／三石稔

◇835 (72-8) 2019.8 A5 82p 1150円

- 鷹匠と鷹書制作(上)—諏訪藩の鷹匠伝来の新出資料を手掛かりに 二本松泰子
飯田下伊那における明治初期の町村合併(上)
—平田門人、森多平、地価軽減運動と関連づけながら 青木 隆幸
伝承化した中世領主会田氏の実像を追う 宮島 義和
書誌紹介 上島有著『新しい中世古文学—アーカイブズとしての古
文書—総論編』 柴辻 俊六

総会報告

信濃史学会第一二期の基本方針

小松 芳郎

二〇一九(令和元)年度定期総会報告

事業委員会(市川包雄)

会員アンケート検討結果の報告

信濃史学会理事・委員会(文責・後藤芳孝)

◆辰野町資料 辰野町文化財保護審議会

〒399-0427上伊那郡辰野町中央1 辰野町教育委員会事務局文化係

TEL0266-41-1681 1951年創刊

◇119 2019.3 B5 106p

信州辰野町に伝わる小野宿の様々な魅力

一古い街並みと古い建物が持っている可能性

土本 俊和

武井覚太郎の手帳(2)

三輪 恵昭

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182

年3000円 1974年創刊

◇169 2019.6 A5 56p

扉写真と解説

上田市指定文化財(史跡) 他田塚古墳・塚穴原第一号古墳

倉澤 正幸

追悼 宮本達郎氏

宮本達郎前会長と機関誌『千曲』

横澤 瑛

宮本達郎先生のご逝去を悼む

酒井 佐

宮本達郎前会長を偲ぶ

西澤 恒幸

小川金兵衛金子借用文書考一仙石医師の地方知行をめぐる

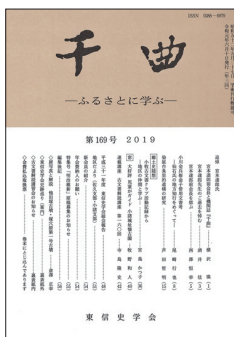
尾崎 行也

染屋台条里的遺構の研究

芦田 哲明

郷土史随想 小牧古文書クラブ活動記録から一地区の仲間と学ぶ

宮島かつ子



窓 大好評 児童がガイド 小諸城址懐古園 牧野 和人
 連載講座 古文書解説講座 第160回 寺島 隆史
 平成三十一年度 東信史学会総会報告 議事／会員研究発表／記念講
 演 櫻井松夫氏「郷土の鎌倉武士、真田氏と平氏の実像」 文責・事務局
 地区だより
 佐久支部 小林 忠三
 小諸支部 「小諸ふるさと遺産」認定事業

*宮本達郎氏は昭和7年に長野県小県郡塩川村(現上田市)に生まれ、県下の小学校・中学校で教壇に立ち、小学校長を退職後、平成7年から『上田市誌』常任編さん委員、同編さん主任を務めたのをはじめ、東部町誌、丸子町誌など上田市近郊の町村誌編さんに関わった。その後、塩田平文化財研究所所長、塩田平文化財保護協会会長、塩田の歴史・文化を学ぶ集い会長などを歴任し、24年には東信史学会会長に就いた。

民俗分野、特に伝説や昔話に関心を寄せた。中でも、『上田市誌民俗編』の「第二章口頭伝承」は、伝承者からの聞き取りに基づく昔話、伝説、世間話に多くの頁を費やし、氏の研究の集大成であるという。

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇272 2019.7 B5 8p

万仏山 山開きに参加して

松本市入山辺の王ヶ鼻御嶽神社開山祭

第215回例会参加記

下平 武

小原 稔

田澤 直人

岐 阜 県

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010

1985年創刊

◇102 2019.6 A4 8p

表紙 縄文土器 深鉢 揖斐郡揖斐川町 戸入村平遺跡出土 縄文時

代中期 岐阜県文化財保護センター所蔵

企画展「縄文人のくらしと心ー岐阜県の発掘調査からー」

加藤栄三・東一記念美術館 (公財)ぎふしん記念財団助成事業「収蔵

作品でたどる加藤栄三・東一

研究ノート 養老改元について

館蔵資料紹介 鱗屋看板 明治時代 寸法：45.0×60.5cm、鱗屋外観

昭和5年(1930)6月末撮影 寸法：10.8×15.03cm

静岡県

◆赫 夜一カゲヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380

<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp>

◇74 2019.7 A4 4p

瑞林寺地藏菩薩坐像と富士市のお地藏さま

佐野あき沙

富士市立博物館ボランティア活動報告 岩本村山崎家文書整理

杉本 寛郎

静岡県富士山世界遺産センター・富士山かぐや姫ミュージアム共同企

画展「富士山の女神 かぐや姫」展のようすをお伝えします！ 秋山 裕貴
見学しよう！富士川民俗資料館「稲葉家住宅」

展示室(2) 富士山の玉手箱 古写真にみる明治の富士

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇490 2019.7 A4 4p 100円

7月例会レジュメ 都市の水・水辺から戦後史を考える

一三島市を事例として

沼尻 晃伸

朝鮮通信使・安倍川餅・前島豊太郎

北村 欽哉

◇491 2019.8 A4 4p 100円

江蘇省での栄養失調死について

村瀬 隆彦

第一回衆議院議員選挙の被選人資格「財産」作りと江原素六

樋口 雄彦

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇225 2019.7 B5 4p

大河内備中守の末裔

小林輝久彦

4月例会報告要旨 今川義元の交通網整備

原田 千尋

5月例会報告要旨 新発見の駿府城天守台に関する考察

前田 利久

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区浜川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇172 2019.7 A4 10p

第1回例会のお知らせ 第1部「これからの裸祭を語る。」中学生によるトーク コーディネーター・谷部真吾先生、第2部「裸祭の底力」講師・野本寛一先生

令和元年度 総会・大会報告 総会報告／大会報告 講演 富山昭氏「オカンジャケ考～謎の民俗を推理する」、研究発表 川口円子氏「鯉節の変化と流通(仮題)」、渡邊好洋氏「御殿場市沼田の小正月」

方言雑考 続 近世地誌に見る「駿府御城下ノ者言葉」について	富山 昭
シリーズ食(39) カツオ一本釣り漁の食文化	松田香代子
元会員 竹折直吉氏・中村肇氏の死を悼む	松田香代子
御殿場に「民俗学」の種を蒔いた竹折直吉氏を悼む	渡辺 好洋
静岡の民俗語彙・方言短信 テ(手)／パッチャンメン	外立ますみ

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇155 2019.6 B5 16p

二〇一九年度総会

第124回研究会 須山忠治氏の「【尼子の生き残り】について」の概要／篠原旭氏の「【今川義元とかぐや姫】について」の概要／太田晴道氏の「【天文法華の乱】について」の概要

愛 知 県

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊
<http://housa.city.nagoya.jp>

◇97 2019.6 A4 8p

権力と本一蓬左文庫本『日次記』の書写・伝来をめぐって	吉田 一彦
展示室1・2 徳川美術館本館	
夏季特別展 合戦図—もののふたちの勇姿を描く—	
『青窓紀聞』の世界	羽賀 祥二
表紙 徳川光国書状 1通 江戸前期 31.5cm×45.3cm	木村 慎平

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

◇602 (59-4) 2019.7 B5 10p 600円

表紙写真のことば 美々津町別府の供養盆踊り

宮崎県日向市美々津町

坂本 要

東京・栃久保の獅子舞

石川 博司

菊にまつわる文化と伝承(5)

一祇園祭の菊水鉦と菊花と菊水の関わりを中心に

大森 恵子

東海民俗発表要旨 三信遠地域の民俗芸能から日本民俗学を学ぶ…

「西浦田楽」再訪記

米津 俊裕

新刊紹介 島田の帯まつり一練る・舞う・奴振り・踊る

島田大祭史研究会編著

まつり通信索引 No581～600

三 重 県

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課 県史編さん班

〒514-0006津市広明町13 TEL059-224-2057 1985年創刊

◇34 2019.3 A5 58p

口絵 昭和13年撮影航空写真

維新政権期における桑名藩の藩政改革

本田 幸士

“有機の里 いが”の淵源—その基礎を創った人々

大原興太郎／外園信吾

資料紹介 松浦武四郎の西日本探索記から

小玉 道明

県・市町村史編さんの動向 『三重県史』資料編 中世3(中・下)

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇168 (43-3) 2019.7 B5 88p 584円

《特集 近江の祭り 現在と未来》

プロローグ 国の重要無形民俗文化財の4つの祭り

長浜曳山祭(4月、長浜市・長濱八幡宮)

文・西川丈雄／写真・吉川宏暉

近江中山の芋競べ祭(9月、日野町中山)

文・振角卓哉／写真・辻村耕司

三上のずいき祭(10月、野洲市三上・御上神社)

文・行俊勉／写真・辻村耕司

- 大津祭(10月、大津市・天孫神社) 文・柿本雅美／写真・辻村耕司
 総論 豊穡を未来へ―「花祭り」休止に想う 市川 秀之
 滋賀の祭りの現状と課題～アンケート調査の結果から 矢田 直樹
 各地の模索 継承へそれぞれの模索 矢田 直樹
 祭とは まちの活力生む本気の張り合い 武田 俊輔
 座談会 長浜曳山祭の町衆座談会 未来をつくる町衆の心意気
 岡本保男／漣泰寿／家森裕雄／竹中一浩／沢田昌宏
 ／西川丈雄／桐山恵行／聞き手・文責 三宅貴江
 祭りを継ぐ 民俗芸能を身体でアーカイブする 武田 力
 技を継ぐ てわざを継ぐ～用具・衣装の現状と対策 寺嶋 裕文
 インタビュー
 驚きが拓く地域の未来 植木行宣氏インタビュー 聞き手・三宅貴江
 ぶらり近江はっけん伝(9)
 どうして「虎姫」なんだろ～と、北陸線の虎姫駅を降りた。 岸野 洋
 森が育む(16) 森は何を育むのか 丸橋 裕一
 インタビュー 湖と生きる 「七本槍」富田酒造15代目蔵元
 富田泰 伸さん 聞き手・三宅貴江／写真・中村憲一
 おもしろ近江考古学(20)
 「錦寺」の文字が刻まれた土器(大津市南滋賀廃寺) 松浦 俊和
 近江の懐(10) 中山道愛知川宿 加藤賢治／石川亮
 歴史の玉手箱(12) 皇室来県時のおもてなし 県政史料室 岡本和己
 ブナの森で考える(4)最終回 林のたどった道 青木 繁

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇63 2019.7 B5 72p

《特集 武田信玄の長女黄梅院殿と嫡子氏直》

武田信玄の長女黄梅院殿と嫡子氏直の生年、黄梅院殿の実子問題

- ―黒田氏・浅倉氏の新説に反論する 首藤 義之
 謎の武田信玄娘(『寛政重修諸家譜』記載)は北條氏政の継室鳳翔院殿
 ではないか 首藤 義之
 武田勝頼の継室桂林院殿(北條氏政妹)は勝頼自刃後も京都で生きてい
 たのか 首藤 義之
 北條氏政正室黄梅院殿(信玄長女)・継室鳳翔院殿(信玄五女か)と嫡子
 氏直の墓所 首藤 義之
 北條氏直(氏政と黄梅院殿の嫡子)と督姫(徳川家康次女)夫妻の遺児 首藤 義之

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇125 2019.6 A4 4p

テーマ展 武具の意匠―武士の願いと祈り

朱漆塗紺糸威縫延腰取二枚胴具足 当館蔵

展示案内 テーマ展 井伊直弼―親しき人への手紙、テーマ展 武具
の意匠―武士の願いと祈り、テーマ展 霊の面 怨霊・亡霊・神霊
―井伊家伝来の井伊家伝来能面から、テーマ展 殿様の本棚―それ
ぞれの教養と趣味

「お立ち寄りもある」江戸上屋敷

早川 駿治

京 都 府

◆宇治市歴史資料館年報

〒611-0023宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260

◇2017 2019.3 B5 47p

英文京都案内『CELEBRATED PLACES IN KYOTO&, THE SURROUNDING COUNTRIES FOR THE FOREIGN VISITORS』について

小嶋 正亮

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇896 (89-6) 2019.7 A5 34p 916円

画論研究1 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考(5)

寺本 健三

「大工前大和権守 大蔵康氏」について

加藤 繁生

第1055回例会 大徳寺・真珠庵と千本通りの文化財を訪ねて

中尾 純子

第41回「石像美術勉強会」報告

兵庫県 川西市・猪名川町の石造美術

安田 成

◇897 (89-7) 2019.8 A5 34p 916円

小林薬師堂五輪塔と単制石幢

甲斐 常興

古建築調査ノート(4) 破風と懸魚

矢ヶ崎善太郎

第1056回例会 堺市泉北の史跡と寺社の文化財を訪ねて

松永 修輔

第42回「石像美術勉強会」報告

福井県 若狭沿いの石造美術と文化財を訪ねる旅

岡本 和恵

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883福知山市本堀1430 中村邦夫方 TEL0773-22-2737

◇794 2018.5 B5 4p

ふるさとの歴史をさぐる(1) 河守の地名由来 村上 政市
大工道具考(1) 手斧 岡垣 清己

深泥(みぞろ)一人百首 ミツヒデさんの親族(3)「いとこ光春 婿の
秀満 同じ人かは判らない」(〇二三)／ミツヒデさんの親族(4)「三
宅弥平次 明智秀満 有名なのは左馬助」(〇二四)

◇795 2018.6 B5 4p

ふるさとの歴史をさぐる(2) 元伊勢を旅した文人たち 国衛上人絵
伝／貝原益軒の「西北紀行」／加賀千代の「老い足の拾いわらじ」／
上田秋成の「秋山の記」 村上 政市

◇796 2018.7 B5 4p

ふるさとの歴史をさぐる(3)
御師の活躍と社格昇格運動 社格昇格運動 村上 政市
大工道具考(2) 墨壺と墨さし 岡垣 清己

◆洛北史学 洛北史学会

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5259 1999年創刊

◇21 2019.6 B5 102p

占領下における芦田均の積極的対米協調論 堀越 翔
史料紹介 十津川村小森区有文書「産物・産業・余業取調べ帳」 松浦 智博
新刊紹介
和田晴吾著『古墳時代の王権と集団関係』 田口 裕貴
横田冬彦著『日本近世書物文化史の研究』 竹内祥一郎

第20回洛北史学会大会

大会テーマ「地域史研究の方法と視座—港湾地域に着目して—」
報告 近世コロマンデル海岸の港町—海上交易と内陸社会 和田 郁子
報告 近世初期の水主役徴発について—大阪湾沿岸地域を中心に 河野 未央
第20回洛北史学会大会

大会テーマ「地域史研究の方法と視座—港湾地域に着目して—」
コメント 人と地域のつながりをどう捉えるか 伊藤 裕偉
コメント 村上 衛
討論(概要)
岸泰子氏「寺町の形成と近世都市京都」

岩本真利絵氏「『君臣同遊』の変容—中国明代における君臣関係の表象—」
三輪眞嗣氏「中世前期東大寺の修学振興と学侶僧」

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊
<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇77 (27-1) 2019.6 A4 4p

館長挨拶	吾郷 眞一
学生スタッフ 活動記録 2階展示学生スタッフ編	(K)
ボランティアガイドコラム	松田 愛子
遊心雑記 お地藏さんの頭	安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204
年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇379 2019.7 B5 20p

土屋鳳洲と岸和田ゆかりの友人・門下生たち	下村 欣司
土地台帳にみる土地利用(2) 大木	井田 寿邦
立石垂願念典が生きた時代と人々(3)	
第二章 残された家系図、家譜をたどる(続)	立石 元
熊野古道の旅(第25回)(前)	北山 理
18年度を振り返る	

◇380 2019.8 B5 12p

聞書 中西自転車店	話者・中西樹三郎／聞書・北山理
室町幕府中枢の動きと和泉(15)	井田 寿邦
たそがれの泉州弁(47)最終回	中野 恒一

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇419 (36-7) 2019.7 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(43) 天王寺七宮(1) 大江神社	和久 敦也
令和元年6月例会報告(第393回)「硫黄流通からみた十一～十六世紀 の日本とアジア」 山内晋次氏	(報告・夏原)

会員講座 第31回 「ある熊本藩士のエピソード」 寺井正文氏 (報告・夏原)
会員の書評 『僧兵の歴史』—法と鎧をまとった荒法師たち (日置昌一
・日置英剛編著 戎光洋出版) 加藤 照也

◇420 (36-8) 2019.8 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(44) 天王寺七宮(2) 久保神社 和久 敦也
令和元年7月例会報告(第394回) 「蘇我氏と大王家」—蘇我氏の台頭
から衰退まで 中田興吉氏 (報告・磯崎)
会員の書評 『人はなぜ歴史を偽造するのか』(長山靖生著 新潮社) 加藤 照也

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇68 2019.6 A4 8p

要家文書からみた七人庄屋

第118回かいづか歴史文化セミナー 講演会「岸和田藩の七人庄屋」

／『貝塚市の70年』を読む会 春の記念講演会

岩橋善兵衛と望遠鏡(7)—善兵衛をめぐる人びと(4)

古文書講座—市内にのこる身近な古文書 江戸時代のものづくり 2／

古文書講座59(通算282回～286回)開催のお知らせ 「江戸時代の抜
け荷と異国船」

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032河内長野市栄町21-11 棕本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊

◇61 2019.4 B5 73p

唱文(しょうもん)

浅井 五郎

法明上人と大江家と楠木正成

松尾巴留美

錦溪温泉・油屋と天見温泉・南天荘、あづまや旅館について

松本弘(裕之)

藩主一行の滝畑巡見と下宿割帳について

岩根 昭男

久邇宮邦彦王の「大和河内路の御旅」の河内について

松本弘(裕之)

報告 第19回知ったはりまっか?河内講座

棕本 進

第二回 夏休み・学習会—郷土の民話の今日

報告文責・井上元良

平成三十年度 事業報告

文責 上杉定嗣・井上元良

記念事業委員会報告(平成30年度)

文責・安原幹也

◆旧真田山陸軍墓地研究年報 旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会

〒565-0851吹田市千里山西1-33-14 堀田暁生方 2013年創刊

<http://www.jttk.zaq.ne.jp/bacas400/sanaboti/>

◇6 2019.3 A5 112p

口絵 台風21号の惨禍～管理棟西側の状況(9月5日撮影)

陸軍墓地、保存の課題—なぜ? そして、どのように?

小田 康德

「戦没者慰霊」と近代日本

白川 哲夫

真田山旧陸軍墓地における兵卒の自殺

中下 秀夫

戦没者追悼の文化史的研究—イギリスと日本を事例として

粟津 賢太

台風二一号の惨禍

参考資料 本会の市民啓発活動

研究活動の記録(6) 2018年

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇836 2019.7 A4 8p 300円

大峯への道—修験の山と水の源流を訪ねる

森下 恵介

戦国最強の水軍 九鬼水軍とゆかりの地・鳥羽

豊田 祥二

◇837 2019.8 A4 8p 300円

岐阜県の戦争遺跡

駒井 正明

三輪・初瀬の芸能舞台

池田 淳

◆除痘館記念資料室だより 洪庵記念会除痘館記念資料室

〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17 緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊

◇12 2019.6 A4 6p

種痘伝来と接種日をめぐむ問題

青木 歳幸

第75代総理大臣・宇野宗佑と近江の種痘・中村雄哉

古西 義磨

種痘の史跡を訪ねて(6)

除痘館記念資料室のジェンナー像をめぐって(続)

米田 該典

よみがえった洪庵の墓所—防災への取り組みを終えて

緒方 高志

緒方洪庵愛の洋酒瓶

浅井 允晶

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇607 2019.7 B5 22p

6月・第668回例会の報告

近江 湖東三山を訪ねて 担当幹事：川井剛・森田又一 報告・森田又一
桶狭間古戦場と関連城砦群 藤岡 秀典

別冊 第669回 令和元年(2019)7月7日 伊勢 田丸城跡と大河内城跡
を訪ねて 案内講師：本会会員 川村保氏 担当幹事：栢木隆・平
川大輔

◇608 2019.8 B5 22p

7月・第669回例会の報告 バスツアー 伊勢 田丸城と大河内城を訪
ねて 案内講師：川村保 担当幹事：栢木隆・平川大輔 報告・栢木隆
北信濃の城「飯山城」探訪 下岡 力
土佐安芸城を訪ねて 坂本 昇
別冊 第670回 令和元年(2019)8月4日 摂津 尼崎城と城下町(寺町)
案内講師：赤川耕一氏 担当幹事：平川大輔・水品弘樹

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054 豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇379 2019.8 B5 12p

豊中歴史同好会創立三十周年記念 シンポジウム 邪馬台国の実像に
迫る 基調講演 2 一世紀に誕生するヤマト(邪馬台)国の台頭 岸本 直文
加古川総合文化センター博物館と西条古墳群を訪ねて 加藤 豊子

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付

1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇274 2019.6 A5 95p 900円

南北朝・室町期の四天王寺と四天王寺別当 相馬 和将
応仁・文明の乱後の山名氏と室町幕府 伊藤 大貴
地域の歴史を守り伝える NPO法人すみよし歴史案内人の会のまち
歩きボランティアガイドの活動 柳野 隆平
書 評

藤野裕子著『都市と暴動の民衆史 東京・一九〇五-一九二三年』 杉本 弘幸
中村元著『近現代日本の都市形成と「デモクラシー」 二〇世紀前期
／八王子市から考える』 吉原 大志

吉岡誠也著『幕末対外関係と長崎』 松尾 晋一

2019年度大会報告要旨

考古・部会報告

甕からみた商業生産の萌芽	木村 理恵
古代前半期土師器生産の変質過程	森 暢郎
古代・部会報告	
八世紀における律令官司の機能と変遷—図書寮を事例に	山上憲太郎
中世・部会報告	
鎌倉期王家の構造と変容	曾我部 愛
鎌倉後期の叙位・除目と公家政権	中井 裕子
近世・部会報告 近世中後期における幕府の代官配置原則	尾崎 真理
近世・個人報告 豊臣期大坂城本丸の復元について	
—サウンディング調査の成果から	市川創／仁木宏／森毅
近代・部会報告	
貴衆両院関係の出発—議会制度導入過程における二院制論の展開	吉田 武弘
トーキー移行期の映画館と社会	
—一九三二年神戸のトーキー反対争議から	吉原 大志

兵 庫 県

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
 年3000円 1997年創刊 <http://www.maple.or.jp/~shimaya/>

◇26 2019.6 B5 56p

誌上インタビュー 港町いま、これから	神内 秀信
《特集 瀬戸内の港町》	
瀬戸内海の港町を訪ねて	谷沢 明
中世瀬戸内海の航路	山内 譲
離島の港町御手洗の軌跡	片岡 智
港町鞆の浦の価値を後世に	戸田 和吉
江戸時代の「牛窓旅」の賑わい	金谷 芳寛
室津にみる港町の盛衰	柏山 泰訓
文献案内	編集部
水で繋がれた歴史の中で(終章)	
『Age of commerce 一忘れられた中世』	岩井 忠彦
播磨の10人(6) 赤松政則	千田 草介
広告世相史 「嘘つきは、戦争の始まり」	一言居士
博物館遊歩(26) 横浜みなと博物館	柏山 泰訓

絵本 朝鮮通信使(5) (14) 江戸城での謁見／(15) 通信使を迎えた

日本人

監修・仲尾宏／絵・綱本武雄／文・柏山泰訓

表紙写真の説明 「室湊はや咲町」(龍野歴史文化資料館蔵)

柏山 泰訓

◆源右衛門蔵 宝塚の古文書を読む会

〒665-0836宝塚市清荒神1-2-18 宝塚市立中央図書館市史資料室気付

Tel0797-85-0648 1999年創刊

◇21 2019.7 A5 122p

解説文

凡例(平成30年6月～令和元年5月学習)

御触書并訴状控(享和三年)(前号から続き)

御触書并訴状控(享和四年)

入会の抱負にかえて

北田 彩花

みちびかれて

楊井ツヤ子

古文書を読む寺子屋一八十路の手習い

酒井 茂善

名来という町にきて

瀬 將英騏

和田家の御触書に現れる飯野藩主

谷川やす子

一枚の古文書から(3)―「御殿様頼母子講」のことなど

はらだおさむ

平井の歴史探訪―平井村の旧小字を辿って

乾 文男

平井村の春秋

増田 勝彦

「とんとこ祭り(ぼたん祭り)」と山本村

藤本 清志

南郷どん

和田與吉郎

豊臣秀次の賜死

室 明

歴史ウォッチング―伊丹篇・西宮篇

伊藤 範彦

金刀比羅宮に初参詣の思い出

中安 章夫

地藏菩薩碑

和田 正宣

◆嶋屋友の会だより 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 Tel079-324-0595

年3000円 <http://www.muro-shimaya.jp>

◇66 2019.6 A4 4p

企画展「はりま伝説夢物語 ドウノヨシノブ原画展～御津・室津編～」

案内／現地講座「万葉の播磨灘を往く」案内

港町・室津が日本遺産に認定／第17回「八朔のひなまつり」開催

室津よもやま話(32) 朝鮮通信使と室津(5)

柏山 泰訓

カタカナ語あれこれ ライトアップ

柏山 泰訓

◆史料ネット NEWS LETTER 歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565

年1000円 <http://siryo-net.jp>

◇91 2019.6 A4 12p

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 巻頭言 史料ネット運営委員として考えること | 松本 充弘 |
| 愛媛資料ネットの活動と今後の課題 | 鈴木あかり |
| 「平成30年7月豪雨」災害に対する広島県立文書館の取り組みと課題 | 西向 宏介 |
| 岡山史料ネットの資料クリーニング作業について | 東野 将伸 |
| 台風21号被災史料の保全について | 松本充弘／吉原大志 |
| 東日本大震災被災資料撮影作業に参加して | 真田 尚幸 |
| 全史料協第44回全国大会 | 松岡 弘之 |
| 「親王寺所蔵史料報告会」を終えて | 室山 京子 |
| 第5回全国史料ネット研究交流集会を終えて | 中村 元 |

◆西宮市立郷土資料館ニュース

〒662-0944西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298 1987年創刊

<http://www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/>

◇50 2019.7 B5 8p

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 特別展示「すなどりの具—西宮の漁具」 | 西尾 嘉美 |
| トピックス 上田順男旧蔵漁具資料 | |
| 発掘された「すなどりの具」—西宮神社社頭遺跡出土の土鍾について | 瀬尾 晶太 |

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇616 2019.7 B5 8p

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 西宮の郵便風景印 | 堀内 陽光 |
| 西宮文化協会五月行事 | |
| 黒川古文化研究所・堀江オルゴール博物館見学会 | 江寄健一郎 |
| 関東に醤油を伝えた西宮町人・西宮(伊藤・真宜)九郎右衛門(後) | 山下 忠男 |
| ◇617 2019.8 B5 8p | |
| ブラジル、コチア産業組合と下元健吉・亮太郎兄弟のこと(1) | 二宮 健 |
| 能舞台の四本の柱 | 森村 暁子 |

◆東播磨 地域史論集 東播磨地域史懇話会

〒675-1224加古川市平荘町上原298-1 山本祐作方 TEL079-428-1055

1994年創刊

◇25 2019.7 A4 45p

資料紹介 石打山古墳の横穴式石室

中濱 久喜

加古郡大野村・糟谷家の俳人たち―滝瓢水・松岡青蘿とのつながりで

兼本 雄三

東播磨のため池と伝説Ⅱ―青池と龍《明石》

森本 眞一

加西市南部(倉谷町・三口町)の古窯跡群について(2)

上月 昭信

有孔広口小壺(臚)の系譜を考えるために

山本 祐作

◆みかげ民俗 みかげ民俗研究会

〒658-0046神戸市東灘区御影本町4-10-11 田中久夫方 1974年創刊

◇10 2018.12 B5 78p

弓削道鏡と天皇の位

田中 久夫

盲人伝承と龍蛇信仰―蛇女房譚を中心に

酒向 伸行

出雲の弁慶誕生伝説と山

北川 千晶

書籍紹介

泉森皎著『行基と歩く歴史の道』

籾 元晶

永澤正好著『田辺竹治翁聞書 四万十川Ⅲ―ムラに生きる』

嶺岡 美見

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇334 (58-3) 2019.6 A5 49p 600円

《特集 ひょうご近世史再考》

近世播磨国の町場と陣屋町

一江戸後期『国都全図』と明治期統計にみる町場

伊賀なほゑ

日記から見る近世中期の大坂天満宮と周辺社会

清水 彩花

尾芝静所著『静所詩鈔』について―『静所詩鈔』の詳細・考察

三枝 正平

兵庫県西国街道一里塚(1) 加古川市寺家町

中村 和男

地域から「よかわ歴史サークル」の活動

歴史講座受講から広範囲な古郷調査へ

藤田 均

新聞新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年7月25日～7月30日)

大国正美／有吉康德

奈良 県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <http://www.oomiwa.or.jp>

◇137 2019.7 B5 80p

第15回三輪山セミナーイン東京講演録・前半

大三輪の神の神格の展開	寺川真知夫
大嘗祭にみる古代の祭り―稲の準備と奉仕の構造	塩川 哲朗
近代能楽堂の形成過程とその特徴	奥富 利幸
『日本書紀』の舞台を掘る―飛鳥の遺跡が語る「日本国」誕生の歴史	相原 嘉之
第47回神道国際友好会宗教事情視察研修	
チェコ・オーストリア共和国を訪ねて	室井 陽

和 歌 山 県

◆熊 野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274

年3000円 1969年創刊

◇156 2019.5 A5 65p

南方熊楠の学問の傾向―民俗学研究と植物学との共通性	雲藤 等
旧西ノ谷村・西八王子宮の合祀に対する南方熊楠の抗議	橋爪 博幸
室町期～江戸期初頭の熊野地域史	
―織豊大名・堀内氏と熊野新宮および那智山(3)	阪本 敏行
杉中浩一郎先生を悼んで	橋本 観吉

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368

〒168-0064東京都杉並区永福1-9-1 明治大学和泉校舎 研究棟事務室気付

TEL03-5300-1156 年3000円 2010年創刊

◇7 2019.6 A5 100p

「熊野」の魅力	林 雅彦
熊野の根源的力を探る	鈴木 正崇
楊貴妃と熊野信仰―中世の熊野信仰の正体に関する仮説	村川 実
会員だより 「日本ヤタガラス協会」を設立しました	山本 殖生
訃報 杉中先生追悼	辻本 雄一

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円

◇214 2019.7 B5 2p

総会報告／研修講演会「熊野信仰の美術 その特色について」長田寛
康先生／新宮城主水野氏入部400年記念講演会(予告)／九鬼水軍の
足跡を訪ねて(予告)／熊野歴史研究23号の投稿募集！／歴史探訪ス
クール

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊

<http://wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp>

◇77 2019.7 A5 130p

小特集 近世都市和歌山の生活史

近世都市和歌山における上級商家の信仰と寺社参詣

一安永期の沼野六兵衛を事例に

佐藤 顕

近世後期、紀州藩における下級武士の住宅について

山下奈津子

城下町和歌山の土人形について—鷲ノ森遺跡出土資料から

川村 紀子

近世都市和歌山の生活史—三尾功氏の研究に寄せて

藤本清二郎

持統天皇(太上天皇)の紀伊国行幸—有間皇子との関わりをめぐって

村瀬 憲夫

古代玉津島の地形環境と近世「奠供山碑」(上)

藤本清二郎

近世中期高野山寺領三軒茶屋の発展と生活

笠原 正夫

河西橋—その歴史と構造(2) 幻と現の当初橋梁

武内 雅人

那智山実報院分家の春光坊家に関する覚書

阪本 敏行

動向 2019年度和歌山県内展覧会情報

島 根 県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊 <http://www.taisha-shiwa-kai.jp>

◇199 2019.7 B5 42p

表紙 奉納山山頂からみた三瓶山(中山玄貴氏提供)

出雲大社の宝物シリーズ(5) かむだから—出雲大社教機関紙『幽頭』

より 慶長御本殿棟古札(国宝)／鉄砲「清堯」・短刀銘「繁慶」(島

根県指定文化財)

出雲大社教務本庁幽頭社

半農半漁のライフヒストリー

- 一出雲市大社町赤塚での聞き書き調査から 岩成 俊策
「出雲地域の歴史と文化」シリーズ(15の1)
史料紹介 明治時代の三瓶温泉紀行(1) 中山 玄貴
「出雲地域の歴史と文化」シリーズ(16)
戦国末期における出雲国神門郡の毛利給人について 山崎 裕二
大社の石造物11 原石鼎の句碑 藤原 慧
コラム 出雲御師の資金調達 山崎 裕二
企画展 たたら一鉄の国 出雲の実像 島根県立古代出雲歴史博物館
手銭記念館の四季 魅惑の漆器 手銭記念館学芸員 佐々木杏里
出雲弥生の森博物館 夏季企画展 出雲の発掘350年史—江戸から平成
発見の歴史 出雲弥生の森博物館
出雲弥生の森博物館 ギャラリー展 出雲の赤一縄文・弥生時代編
出雲弥生の森博物館(文責・坂本豊治)

読者コーナー

- 読後感 岩成俊策さまの「海民の記憶」に心動かされました！ 岡垣 克則
大社史話に教えられ 荒木八洲雄

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
2002年創刊

◇71 2019.7 A4 10p

平成三十一年宇喜多家史談会総会記念講演

- 河本家版宇喜多家譜について(2) 矢吹 壽年
関ヶ原合戦において宇喜多勢はどう戦ったか？(2) 小川 博毅
近年の宇喜多氏研究をめぐって(1) 大西 泰正
末裔から見た宇喜多秀家像(其の四・挿図)一終焉の地八丈島を訪ねて 浮田 靖彦
軍記物・地誌等が語る宇喜多直家の「仇討談」について(1) 島村 豊
物語直家記伝 西大寺辺の城 第42回 姻戚(6) 山重十五郎

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付
<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇86 2019.6 B5 8p

〈第47回全体会の記録〉

報告要旨 佐倉藩の種痘政策

萱田 寛也

参加記

萱田寛也報告「佐倉藩の種痘政策」参加記

深谷 克己

萱田寛也報告「佐倉藩の種痘政策」を聞いて

下重 清

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇154 2019.6 A5 14p

山陽新聞賞(文化功労)受賞に思いをよせて

塩津 容子

歴史文化遺産は復興のエネルギー

山崎 隆夫

岡山の人物(93) 柴田義董

村上 岳

岡山の自然(149) 遍照寺の枝垂れいちょう

安東 康宏

岡山の文化財(149) 芸備線野馳駅

小西 伸彦

わが町・わが村の自慢 岡山理科大学 恐竜学博物館(岡山市)

ふるさとの思い出 漱石の足跡を伝える(岡山市東区金田)

小泉 真

会員だより 「岡山後楽園」俳句でご案内

柴田 洋子

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇208 2019.7 A4 20p

神邊今大仙備中衆について

田口 義之

郷土探訪 渡辺神社 (現)北吉津二丁目 妙政寺の東側下

藤井 好玄

研究レポート 謎の福山城図(4)一福山を描いた最古の絵図

瀬良 泰三

近世福山の歴史講座 水野時代城下の寺社 第五部 城西の寺院

高木 康彦

田口義之の備後山城50選(33) 備後最北の山城 葦山城跡

ワンショット・レポート 一泊旅行・阿波の戦国と室戸岬

調査報告

中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

山手銀山城跡測量調査報告

杉本 憲宏

辻堂百景(19) 福山市金江町「藁江地藏堂」

秋山 由実

会員便り 社会貢献としての古文書解読

秋山 由実

郷土探訪 軍馬の碑について

岡田宏一郎

大分便り 梅花の宴は知っていた

後藤 匡史

広島県

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇340 2019.7 B5 12p

今月の各地 小佐木島活性化への期待 正田 公佑

平成29年度 レキカン総会記念講演記録

小早川家当主(隆治氏)三原を語る(完結編) 事務局

令和元年度総会および歴史講演会報告 歴史講演会「小早川隆景と乃

美宗勝」講師：秋山伸隆先生、令和元年度総会 鈴木 健次

明治政府の財政を支えた酒税、そして三原の酒造家の動向(2) 定森 總治

五輪原の主は？(1) 大谷 和弘

◇341 2019.8 B5 12p

今月の各地 科学技術の進化に想う 大谷 和弘

三原遠野氏の支配(1) 橋本 敬一

明治政府の財政を支えた酒税、そして三原の酒造家の動向(完結編) 定森 總治

五輪原の主は？(2) 大谷 和弘

別紙 令和元年度 県史協郷原大会の参加者募集！ 鈴木 健次

付録 三原遠野氏の支配(レジュメ) 令和元年6月25日一部訂正／平

成30年5月6日 歴史と観光の会用 橋本敬一作成

山口県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 TEL083-924-2116 1954年創刊

<http://www.yshlh.jp>

◇121 2019.6 A5 148p

徳山藩断絶時における藩士の動向について 吉田 真夫

「長府御領砂糖製作一件」に書かれた砂糖製造法について 大末和廣／平井清貴

宝暦明和期の伊崎開発と伊崎宰判について 石川 敦彦

大田・絵堂戦役における二・三の問題点 池田 善文

郷党意識の形成と歴史顕彰—近代山口県における「防長意識」の形成

上符 達紀

関門海峡への機雷投下と下関防備隊による掃海 工藤 洋三

大内氏譜牒の京都淵源と興隆寺別本

—大内政弘の『新撰姓氏録』閲覧に始まる伝説奔流 北川 健

調査と探求 伊藤博文が周旋した長州藩英国留学生の再集結

一新出の山尾庸三あて伊藤書簡に見る

道迫 真吾

歴史散歩 児玉源太郎ゆかりの地

松本久美子

地方だより 大島地区／岩国・玖珂地区／柳井地区／熊毛地区／光地区／周南地区／防府地区／山口地区／宇部地区／美祢地区／下関地区／長門地区／萩地区

発表要旨 第129回研究大会

屋根からみた中世都市山口一大内氏関連遺跡出土の瓦群の検討から

北島 大輔

大内氏伝説の紀元と紀年・周年の体系

一大内氏が自認する伝説紀年オーダーの朝鮮関係以前

北川 健

安政期萩藩御手組の組織編成と九州鯨組の役割

末田 智樹

萩藩の天然痘予防接種について

石川 敦彦

江戸時代の岩国における学事施設の展開—岩国徴古館資料から

枝元 咲

木戸孝允「討幕」を唱えたのか

下田 悠真

勝山御殿跡の文化財的価値

中原 周一

徳 島 県

◆史窓 徳島地方史研究会

〒779-3233名西郡石井町石井字石井1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

◇49 2019.3 A5 153p 1389円

研究史特集 徳島地方史研究の現在地

先史・古代史研究の現状

岡本 治代

中世史研究の現状

森脇 崇文

近世史研究の現状

岡本 佑弥

徳島の民俗学研究の現状

磯本 宏紀

阿波国における江戸期と明治期の塩田面積の比較について

小橋 靖

史(資)料紹介 祖谷山中屋名・下川家文書

町田 哲

松浦春拳《竹虎図襖》(国傳山地蔵院東海寺蔵)について

小川 裕久

箏曲「紅葉合」の成立と継承—『紅葉合の曲』の由来』解題

小川 裕久

書評 地方史研究協議会編『徳島発展の歴史的基盤—「地力」と地域社会』

金原 祐樹

史窓のひろば 第11回四国地域史研究連絡協議会大会・第40回徳島地

方史研究会公開研究大会「地域と開発」について

徳野 隆

徳島県地方史研究文献目録(2017年10月～2018年9月)

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇115 2019.6 A4 8p

徳島県勝浦町産の獣脚類恐竜の脛骨化石 辻野 泰之

Culture Club 県民の力で 文化の森の植物を調べる

—『中級クラス植物観察会』の活動から 茨木 靖

徳島県立博物館60周年記念企画展

とくしまの恐竜時代—徳島県の恐竜化石発掘報告

収蔵品紹介 延喜式と三木家文書—古代・中世の大嘗祭関係資料 長谷川賢二

情報BOX 『絵本目録覚』—徳島藩の絵師の絵手本リスト 大橋 俊雄

レファレンスQ & A

クスノキの葉に寄生する外来昆虫がいるようですが、何ですか？ 山田 量崇

愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇129 2019.7 A4 20p

四国中央市の古墳(9) 宝洞山古墳群 正岡 睦夫

伊予の石切場(5) 興居島コノコシ石切場 十亀 幸雄

◇130 2019.8 A4 24p

松山市下難波打越古墳について 河原茂／正岡睦夫

四国中央市の古墳(10) 朝日山古墳(原峯1号墳) 正岡 睦夫

伊予の近世城郭石垣構築技術(2) 宇和島城石垣(2)

—井戸丸門石垣と煙硝矢倉石垣 十亀 幸雄

『いせきニュースレター』目次 第121号～第130号

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇394 2019.7 A5 41p 750円

丸山定夫巡礼 篠原 孝明

目黒山形模型に見る一七世紀の植生と山林景観 宮本 春樹

歴史余話 福澤諭吉から三浦安への信書を読む 加藤 正典

新刊紹介 矢野達雄著『伊予松山・裁判所ものがたり(明治編)』、大

洲市編『大洲城下物語』、青山淳平著『『坊っちゃん』の漢学者はな

ぜ斬殺されたか』
郷土その日その日 自平成31年1月至今令和元年5月

高須賀康生
編集部(袖山俊夫)

福岡県

◆季刊邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇136 2019.7 A5 180p 1250円

- 巻頭言 徐福は夢か幻か 編集部
〈総力特集 徐福と古代日本 徐福が日本にもたらしたもの〉
徐福が来た道―上陸地(浮盃)から金立 大串 達郎
徐福伝承と熊野信仰〜和歌山・新宮 山崎 泰
徐福が来た道―神奈川の徐福伝承 前田 豊
徐福文化の世界無形文化遺産登録にむけて 赤崎 敏男
徐福伝説〜秦の始皇帝をだました男 井上 修一
時事古論(9) 纏向遺跡出土のモモの核年代測定(後編) 桜井市纏向
学研究センターの発表を検討する―旧石器捏造事件ふたたび 所長、
寺沢薫氏の所論の大いなる矛盾 安本 美典
「魏志倭人伝」は、ほんとうに短里で書かれているのか? 笛木 亮三
物部氏と尾張氏の系譜(7) 上代古典の神・氏族・自然
―初代神武天皇の即位を寿ぐ天香語山命 志村 裕子
オトナ女子のコラム 晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり
自著を語る
『理系学者が読み解く『魏志』倭人伝 女王卑弥呼が都した邪馬台
国に到る』 宮崎 照雄
『邪馬台国の定理―魏志倭人伝・記紀・考古学で読み解く倭国の成
立過程』 大場 淳一
神社仏閣、縁起めぐり(4) 志賀海神社 編集部

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研
究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊
http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

◇183 2019.6 B5 99p

- 西海捕鯨業における漁場秩序と地域社会
―五島列島黒藻瀬をめぐる争論を事例にして 古賀 康士

史料紹介 「盛岳文書」について	吉良 国光
書評 横山尊著『日本が優生社会になるまで 科学啓蒙、メディア、 生殖の歴史』	赤司 友徳
元会長川添昭二を偲ぶ	
川添昭二先生追悼特集にあたって	佐伯 弘次
「教育の神髄」の体現者川添昭二さん	瀬野精一郎
川添学兄を偲んで	小田富士雄
川添昭二先生への思い出	山口 隼正
ジゴロの悔恨一個人的な思い出	有馬 学
川添昭二先生を偲ぶ	森 茂暁
『九州大学五十年史』と川添昭二先生	折田 悦郎
ある日の先生のお言葉	上田 純一
川添昭二先生の思い出—太宰府市史を中心に	梶原 良則

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇218 2019.6 B5 20p

作礼嶽大権現坐像 唐津市厳木町平之 作礼山東峰山頂	志佐 惲彦
『有浦文書』研究断片(1) 『有浦文書』一七「佐志浄覚挙譲状案」で 見る、七〇〇年ほど以前の値賀村のようすについて(上)	青木 隆
唐津の明治維新 小笠原長行と生麦事件 小笠原長行の唐津時代	中里 紀元
願いは世代を超える対話本 『かがみん話2』を発行	田中 好美
唐津・発掘・発見の話(6)	
内務省嘱託調査員増田于信と九州調査について	徳富 則久
読み下し 『平松儀右衛門道中日記』(8)	久我 圭子
史料にみる小笠原長行の書翰	山田 洋
歴史に忘れられた人—友常典膳覚書(4)	田島 龍太
神武天皇の足跡を辿る宮崎の旅	松本 和典
「川柳が往くひむか神話の郷」	坂本兵八郎

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇91 2019.7 A4 8p

石の証言 台南州公共大圳会 台南州公共圳嘉南大圳組合

はじめに 定期総会 宮崎西高校放送部制作ドキュメント「塔の記

憶」、「八紘一字」の塔から何を学ぶか」土岐宗春さん

2019年度総会 新年度の運営方針 「八紘一字」の塔は加害責任を証

言する戦争遺跡であることを広める、塔を文化財(戦争遺跡)に登録

し平和ミュージアムを建設する、考える会の組織強化と他団体との

協力協同

沖縄県 6/23慰霊の日 平和宣言

トビックス ナミビアに返還されることになった石柱

韓国民主化の史実をたどる 映画「1987」を訪ねるソウルの旅(1) 追立 敏弘

鹿 児 島 県

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 Tel.099-253-1775 年4000円

1950年創刊

◇155 2019.6 B5 86p

表紙写真解説 加世田小松原の伊勢講

松原 武実

二つのワラット

牧島 知子

南種子町広田の盆行事

牧島 知子

士族の妻の家計簿より一大正6年

所崎 平

延岡のばんば踊り

松原 武実

ラオス北部の農村の民俗と日本農村の民俗がよく似ているのはなぜか。

その謎を解くー比較民俗学の視座より

下野 敏見

徳之島ユワタシガミ覚書

本田 碩孝

「ホトケバアサン(仏婆様)」を母とする「隠れ念仏」

ーシャーマンと「内の如様(にようさん)」ー第12回

森田 清美

霧島修験 本山派愛甲修験資料『異賊調伏御祈禱日帳』読み解き(9) 森田 清美

みんぞく・かわらばん

奄美の神出現

松原 武実

種子島の法華経第二十六陀羅尼

松原 武実

資料 文化二年 次渡日帳 川邊

前床重治・編

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊

◇233 2019.7 B5 8p

7月定例会レジュメ 島尻を歩く

案内・兼島朋子

8月定例会レジュメ 池間島を訪ねる

案内・松川知恵

東洋と西洋を結ぶ密牙古人―5月研究会を終えて

大西 威人

6月定例会のまとめ マラリアから読み解く近代宮古島の歴史空間

崎浜 靖

平和展「戦中の宮古―造られた3つの飛行場」の紹介

與那覇史香

平和展関連行事 「伊良部地区の戦跡巡り」の報告

案内 地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業第二回 土器に残され

た農耕の痕跡―ミヌズマ遺跡出土土器の圧痕分析を通して

旧西中共同製糖場でボイラー遺構の発見

久貝 弥嗣

宮古初の週刊誌 『週刊宮古』のこと

仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆大和町の近世

南魚沼市教育委員会編・刊（〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 南魚沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係 TEL025-773-2197）2019年7月 A5 520頁

平成16年に六日町と大和町が合併して誕生した南魚沼市の郷土史編さん事業として継続中の『六日町史』『大和町史』。本書は、既刊の『大和町史』上巻(原始・古代・中世 昭和52年)、中巻(近世 平成3年)につづく下巻(近・現代)。編さん事業における調査・研究の過程で新たに発見された資料を中心として、慶長3年(1598)から慶応3年(1867)までの江戸時代の大和地域の歴史をまとめる。続刊に『大和町の近現代』を予定。第一章 村の成り立ちと支配(春日山堀氏と高田藩松平氏の支配、松平光長高田藩の支配と村、幕府代官の支配、会津藩預り所の支配と幕府直支配の復活、再び会津藩預りとその後の支配)／第二章 村のしくみと村人のくらし(村々の概観、村のしくみ、村人のくらし、教育と文芸)／第三章 浦佐組の宿駅(三国街道の成立と浦佐村、浦佐組の宿駅を通る人々、浦佐組と五日町宿、浦佐船の展開)／第四章 大和地域の信仰と八海山、毘沙門堂(寺院・神社・仏堂、八海山信仰、毘沙門堂と裸押合い・祭礼市、寺院・神社の行事と管理、村の生活と信仰、信仰と旅、幕末の動乱と寺院・神社)／第五章

農業と山川の利用（農業の営み、山野の利用と争い、用水の維持と争い、八色腹の開発）／第六章 さまざまななりわいと金融・商い（縮と酒、浦佐組の諸職、商いと金融、市の争い）／主な参考・引用文献／付図 大和町地域管内図

◆歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体との連携事業（17）

平成30年度事業報告書

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編 神戸大学大学院人文学研究科（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566 <http://www.litkobe-u.ac.jp/~area-c/>）2019年3月 A4 56頁

自治体や地域住民と連携しながら、兵庫県内各地の歴史資料の保存・活用や歴史遺産をいかしたまちづくりを支援していくことを目的に、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターが2002年から進めている事業の報告書第17集。序 歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業の進捗状況について（奥村弘）／第1章 地域の歴史文化をめぐる情報の共有や交流の促進 第17回歴史文化をめぐる地域連携協議会 地域歴史遺産の〈活用〉を問い直す（井上舞）、開催挨拶（内田一徳）、主催者挨拶・趣旨説明（奥村弘）、第1部 活動報告（報告 よかわ歴史サークルの活動について（藤田均）、報告 わが故郷の記録『金浦の歩み』作成の取り組みについて（藤田均））、第2部 シンポジウム「地域歴史遺産の〈活用〉を問い直すー地域資料館の可能性」（テーマ説明（井上舞）、基調報告 歴史分野における公的セクターの地域社会・市民社会へのコミットメント（辻川敦）、報告 週2日の史料館詣で（武田壽夫）、報告 歴史文化を面白がり共感を生むために（若狭健作）、報告 尼崎市立地域研究史料館と大学（大江篤）、報告 全体討論（村野正景））／第2章 歴史文化を活かしたまちづくり支援と自治体史の編纂協力 兵庫県文化遺産防災研修会（井上舞）、兵庫県地域創生局地域遺産課との連携（奥村弘）、神戸市との連携事業（河島真・市沢哲）、包括協定にもとづく灘区との連携事業（木村修二）、神戸市を中心とする文献資料所在確認調査（木村修二）、財団法人住吉学園との連携事業（加藤明恵）、大学協定にもとづく小野市との連携事業（加藤明恵）、連携協定にもとづく朝来市との連携事業（井上舞）、丹波市との連携事業（井上舞・加藤明恵・木村修二）、連携協定にもとづく加西市との共同事業（井上舞）、尼崎市における連携事業（市沢哲）、三木市での連携事業（木村修二）、三田市との連携事業（奥村弘）、伊丹市との連携事業（奥村弘）、篠山市との連携事業（奥村弘）、明石市との連携事業（井上舞・加藤明恵）、たつの市との連携事業（室山京子）、姫路市香寺町における連携事業（井上舞）、福崎町との連携事業（井上舞）、猪名川町における連携事業（木村修二）、大学協定に基づく大分県中津市との連携事業（松下正和）、人間文化研究機構との連携事業（奥村弘）／第3章 歴史資料・災害資料の保全・活用 歴史資料ネットワークへの協力・支援（吉川圭太・木村修二）、石川準吉関係資料の調査（奥村弘）、附属図

書館震災文庫への協力(吉川圭太)、人文学研究科古文書室の所蔵文書管理(室山京子)、住吉歴史資料館での調査・研究(室山京子)／第4章 地域歴史遺産を活用できる人材の育成 地域歴史遺産の活用をはかるリーダー養成教育プログラム(井上舞・河島真)、地歴科教育論C(河島真)、特別研究「地域歴史遺産保全活用教育研究を基軸とした地域歴史文化育成支援拠点の整備」事業を定着・普及される活動(木村修二・横山朋子)／第5章 地域連携センターを拠点とするプロジェクト 平成27年度科学研究費補助金基盤研究(S)「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」の研究支援(吉川圭太)、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)「地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」(井上舞)／第6章 地域連携研究と研究成果の発信 地域連携センター年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行(木村修二)、地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費補助金研究、講演会・市民講座等／参考資料

◆後記

以前にも書いたことであるが、「公文書等の管理に関する法律」の第一条(目的)は、「この法律は、国及び独立行政法人等の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等が、健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、主権者である国民が主体的に利用し得るものであることにかんがみ、国民主権の理念にのっとり、公文書等の管理に関する基本的事項を定めること等により、行政文書等の適正な管理、歴史公文書等の適切な保存及び利用等を図り、もって行政が適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、国及び独立行政法人等の有するその諸活動を現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにすることを目的とする」と高らかに謳っている。自分たちに不都合な文書は逸早く消去し、バックアップデータは行政文書ではないとうそぶく政治家や官僚は、自らの胸に手を当てて省察して欲しい。『茨城史林』で紹介した佐久間好雄氏が言う、行政文書は「歴史的遺産」の意味を、国民ひとり一人が自分のこととして考えていかなければ、この国の民主主義は本当に危ういものになってしまうだろう。

(飯澤)

地方史情報 141 2020年(令和2年)1月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。